

1 「言論と公益を脅かすニセ科学問題」資料（小波秀雄 2016/12/23）

2 原告の主張を科学的に検証する

2.1 ナノ銀除染関連

2.1.1 「シンプルでまず破れない物理法則」

- エネルギー保存則（熱力学第一法則）
- 質量保存（物質不滅）の法則 ラヴォアジエ（素粒子レベルに拡張されてエネルギー保存と統一）
- ニュートンの運動方程式（相対論と量子力学とは矛盾なく接続している）

2.1.2 基本—原子核反応と化学反応のちがいについて

2.2 裁判資料から「ナノ銀除染」を検討する

2.2.1 3つの原告側証拠を検討

- 甲 15 号証：阿部宣男，岩崎信「ナノ純銀担持鵝材放射能軽減効果試験」
- 甲 19 号証：岩崎信，阿部宣男他「ナノスケール純銀担持体の放射性セシウム減弱効果の検証測定」
- 甲第 22 号証：「低エネルギー核反応 (LENR)」の理論（田中栄一）

2.2.2 甲 15 号証と甲 19 号証の矛盾

15 号証：ナノ純銀担持鵝材放射能軽減効果試験

- 平成 24 年 28 日，千葉県柏市南部クリーンセンターに依頼して実施
- 放射性セシウムから放出される線量がナノ純担銀持体によって減少する
- エネルギー放出はゆっくりになり，長時間かかって減衰する = 半減期は長くなる

19 号証：放射性セシウムの半減期が 20 日程度と,1/530 に短縮されている

- エネルギーは一気に放出され，線量は 500 倍以上になる
- データによるとガンマ線のエネルギーは変わっていない
- 上の 2 つの証拠は矛盾している。*

2.2.3 甲第 22 号証：「低エネルギー核反応 (LENR)」の理論

「低エネルギー核反応による新しい核エネルギーへの期待」アイソトープニュース 705,13-18(2013) 田中栄一（浜松ホトニクス顧問，放射線医学総合研究所元研究員）

- 核変換： $Ni + H \rightarrow Cu + \text{熱}$ （大量）
- ガンマ線，中性子は観測されない。低エネルギー X 線のみ
- 何らかの機構で Ni と陽子のクーロン障壁が抑えられて核融合が起きたと推定

- 2011 年末に 10 kW の家庭用核融合装置を 900 ドルで受注，さらに年産 100 万台を見込む（どうなったのか？）

田中論文の意味するところ：

- Ni + H → Cu の核融合反応は，本来なら原子核同士の強い反発によって起こりえない。
- もし起こせたら，発熱反応であり，利用価値がある。
- 報告された結果によると，原子核同士がくっついた状態のエネルギーを低くして，何らかの反応が起きたと推測される。
- 放出されたエネルギーは，原子核の質量欠損と合っているようだ。

起こったとするならば，一応物理の基本法則に反しない仮説になっている。

一方，岩崎 阿部の実験報告は物理の基本法則を破っている。

彼らが証拠として提出した田中論文は，原告の実験報告の破綻を印象づける藪蛇である。

2.2.4 原告側が提出しなかった証拠：

乙 18 号証：東京地裁民事 37 部への日本原子力研究開発機構からの回答書 原告が彼らの除染法の効果を日本原子力研究開発機構に依頼して試験していたが，原告側資料として提出されていない。被告側が裁判所の職権で証拠請求して回答書を得たもの。

- 検証試験結果によるナノ純銀による放射能低減効果の評価
- 第 1 回測定結果：ナノ純銀を利用した除染資材を添加した汚染土壌資料と，上記資材を添加していない比較資料すべてにおいて，放射能の変動はなく，放射線量の低減効果は認められなかった。
- 第 2 回測定結果：汚染土壌へのナノ純銀パウダー混入の有無に関わらず，（中略）低減効果は認められず，繰り返し測定においても同様であった。

2.2.5 乙 18 号証:別添資料 1,2(東京都市大学岡田准教授による阿部宣男氏宛の回答書)

- ナノ銀利用除染資材による放射能低減効果について
- ナノ銀利用除染資材による放射能低減効果について（追加試験）
- 「いずれにおいてもセシウムの除染効果は認められなかった」

原告は 甲 15,19 号証において，自らの「実験」に対する他者の追試を期待するような文言を書いているにも関わらず，専門家による試験が否定的な結果を出したことを隠していた。

2.2.6 YouTube に公開されたナノ銀除染風景 (<https://www.youtube.com/watch?v=x9jConX1Rg4>)

- 「理学博士 阿部宣男ナノ純銀素粒子による放射能低減実験に成功。」(2012.12.25)
- 大熊町の墓地でナノ銀を撒いて空間線量を測定し，100 mSv 下がったと宣言
- 環境放射線量の測定についての環境省のガイドラインをまったく守らないで測定